

## 熱蛍光線量計

### 熱蛍光線量計 ねつけいこうせんりょうけい

格子欠陥を持った半導体ないし絶縁体の結晶に放射線を照射し、照射後加熱すると光（蛍光）を発する。これを熱蛍光（熱ルミネッセンス）といい、この現象を応用した線量計が熱蛍光線量計である。線量計として実用になる物質としては、フッ化リチウム $\text{LiF}$ 、フッ化カルシウム $\text{CaF}_2$ 、硫酸カルシウム $\text{CaSO}_4$ 等がある。粉末状で使用でき、かつ微量で十分の感度を有するため、小型化することができ、個人被曝管理、医学的利用、環境放射能の測定、熱中性子の測定、年代測定等に使用されている。測定範囲は $1.0 \times 10^{-5} \sim 1.0 \times 10^5 \text{ Sv}$ である。

---

<登録年月>

1998年01月

---

---